

「助けてもらおう」から「助ける」へ

Sharma Poudyal Jyoti

(サルマ ポウデル ジョティ)

出身地：ネパール

2022年8月、初めて日本を見たとき、きれいだと思います。ネパールではバスに乗ると、とてもゆれます。でも日本でバスに乗ったら、あまりゆれなくて驚きました。道がきれいなんですね。日本語は何を話しているのか？と思うことが多かったです。マクドナルドのお店に、日本に来てから行きました。でもお店の人が何を言っているのか、さっぱりわかりませんでした。そのとき、私は日本語が話せるようになりたいと思いました。

はじめに日本語学校で、ひらがなとカタカナから勉強しました。そして日本の高校に入るために、作文や面接練習に松戸へ通いました。私は毎日作文を書き、先生に見せて直してもらいました。かんぺきな作文になるまで、何回も書きました。また、面接での話し方についての動画をたくさん見ました。先生はいつもはげましてくださり、間違いを正しくしながら、私に自信をつけさせてくれました。そのおかげで努力の大切さを学び、どんな課題にも一生懸命取り組むことを身につけました。そして、高校に合格しました。

入学して最初の日ドキドキしました。なぜなら、日本では外国人が友だちを作るのが難しいと聞いていたからです。しかし驚きました。友だちのほうからやさしく話しかけてくれたのです。「わからないことがあれば聞いてね。」と言ってくれました。日本語があまり得意でない私を、友だちは理解しようと努力してくれました。私がわからない時には英語で話そうとしてくれました。先生も授業中にていねいに教えてくれました。

初めての中間テストでは、私はどうやって勉強すればいいのか全然わかりませんでした。その時、友だちが放課後にたくさん時間を使って勉強を教えてくれたり、宿題を一緒に終わらせてくれたりしました。先生も私にアドバイスをしてくれて、大事なポイントを教えてくれました。私も先生に「どうやって勉強したら赤点とりませんか。」と、聞きに行きました。先生や友だちの支えと、励ましのおかげで、私は自信を持って勉強することが出来ました。心から感謝しています。

今私は二年生です。私は多くの人に助けられました。外国人として、文化や言語の違い

にとまどうことも多おかったですが、友だちや先生のおかげで安心あんしんして学校生活を送ることが
できています。そのため、私わたしは後輩こうはいたちに、「もし何かわからないことがあれば、私わたしに聞い
てください。」私わたしが知しっていることだったら、手伝てつだいます。」と、伝えるようにしています。
私わたしは後輩こうはいたちに数学の問題を教えたり、課題の手伝てつだいをしたりしています。それは、私わたしに
とってとても嬉しいものであり、大きなやりがいを感じます。他の人を助けることは、私わたしに
とって大きな喜おびです。これからも困っている人の力ちからになれる人になりたいと思っていま
す。